

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 21名回答、回答率 80.8%

職員の意見

○環境・体制整備

・大きな窓に飛散防止フィルムを貼ったり安全対策を行った。運動エリアの壁にマットを貼ることで強度と安全性を向上させた。発達支援室内の家具や角にはクッション材を貼ることで安全を確保している。
・L字型の発達支援室であることを生かし、クールダウンや個別課題等の時間にパーテーションを使用して半個室を作ることで場面に合わせて過ごしやすい空間を作っている。

○業務改善

・業務前ミーティングでの情報共有に加えて、必要事項を指導員が必ず目にする送迎表に記載している。共有漏れが起らないように確認する工夫を行っている。
・社内の研修を受講したり、教室内研修を実施することで職員の技術向上に努めている。またガイドラインアンケートを活用し保護者の意見を取り入れた教室運営を行っている。

○適切な支援の提供

・週に複数回通所している利用者もいるため5領域すべての集団療育を行うことと月内で活動内容が被らないような工夫を行っている。さらに利用者が楽しめる集団療育を月に1~2回入れることで療育の質と利用者が楽しく過ごすことが出来る場であることを共立させている。
・他教室との合同イベントの実施や地域交流などの機会をあまり得ることが出来なかったため来年度は実施していきたい。

○関係機関や保護者との連携

・近隣の医療機関と医療機関協定を結んでいる。自立支援協議会に参加し、情報収集や地域の他の事業所との関係づくりを行っている。
・送迎時の申し送りの時間を活用し保護者に利用者の様子を細かくお伝えしている。また必要に応じて家族支援の時間を設け学校や家庭での課題解決に向けて情報共有の時間をとっている。

○保護者への説明責任等

・毎月ニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定をお知らせしている。今年度からは利用者の写真も積極的に掲載することで活動の様子をよりわかりやすく伝えるような工夫を行っている。
・日々の申し送り時に教室スタッフが保護者に本日の様子をお伝えすることができている。
・療育参観や保護者会の実施し日々の様子や教室での支援の様子を伝えることができた。来年度も保護者会と療育参観を実施する。

○非常時等の対応

・月一回の避難訓練は、地震・火災・水害・不審者等様々なケースを想定し実施した。利用者の理解度に合わせて映像を活用したり、クイズ形式にしたり参加しやすい内容にしている。
・虐待防止研修や身体拘束適正化研修、感染症対策研修等を通じて職員が支援時間中のイレギュラー対応に適切に対応できるように訓練している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・「職員の配置数や専門性は適切であると思いますか」という質問に対し「いいえ」という回答はなかった。引き続き安心して通っていただけるように整備していく。
- ・環境に関しては8割以上の方から高評価を得られたが「掃除はされているが部屋が暗い印象ある」という意見もあったため蛍光灯の明るさや壁紙などを工夫する必要がある。

○適切な支援の提供

- ・昨年度同様「個別支援計画作成が適切に作成されているか」という質問に対し9割以上の方から「はい」という回答をいただけた。引き続き一人一人に合わせた支援計画を作成し支援を行っていく。
- ・地域交流に関する質問に対し「わからない」という回答が過半数を超えてしまったため今後は他教室との合同企画や買い物企画などを増やして。またニーズに合わせて地域との交流の機会を設けることも検討する。

○保護者への説明等

- ・今年度教室で力を入れていた「定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか」という項目に関し95%以上の方から「はい」という回答を得られ、「参加できてよかった」という評価をいただいた。
- ・保護者の交流の機会については今年度2回実施したが、約7割の方に「いいえ・わからない」の回答をいただいたため今後は開催時期をずらすことで多くの方に参加いただけるような工夫を行う。

○非常時等の対応

- ・非常時の対応に関する質問項目では訓練の面や支援の面に関する質問において8割以上の方から高評価を得られた。
- ・マニュアルの設備などに関しては「わからない」「どちらともいえない」という回答を3割の方からいただいたため引き続きニュースターなども活用し必要な訓練や支援を提供できていることを知っていただけるような工夫を行う。

○満足度

- ・「こどもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足していますか」という質問項目で約9割の方から「はい」という回答を得られた。「今年度からとても良くなった」「好きな友達、先生がいて毎回の通所をとても楽しみにしている」という意見もいただいたので引き続き利用者が安心して過ごせる事業所作りに務める。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・各種マニュアルを見ていただけるよう、マニュアルを整備する。
- ・教室の壁面を清掃し、必要な情報を見てもらえる環境を整備する。
- ・保護者会、療育参観を半期に一度設定し、周知・実行していく。
- ・課外活動(お買い物学習など)等を行い、地域にも開かれた教室作りをしていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・壁紙の張替えや壁の強度を増すための工事を行うことで環境整備には積極的に取り組むことはできた。情報の発信方法については壁への掲示やお便りの配布を引き続き行っていきたい。
- ・近隣店舗へにアイスや昼食を買いに行くことで利用者が地域の方と触れ合う機会を作ることが出来たがまだ頻度は少ないと感じられる。
- ・療育参観や保護者会を実施できた。頻度や時期を検討し参加人数が増えるようにする。
- ・マニュアルや環境の整備が出来ていることを周知する機会があまり取れなかったため、教室を知っていただけるよう内容にしていく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者やこどものニーズに合わせた個別支援計画の策定を行っている。また個別課題や集団療育も一人ひとりに合わせて提供できている。
- ・送迎時の申し送りや定期的な面談、家族支援により保護者と密な連携をとり支援を行うことができている。
- ・日々の集団療育の内容を工夫し利用者の楽しさと療育の質の担保している。また来たいと思える教室作りができている。

○改善点

- ・合同イベントや地域のお店の利用などを通じて他教室や地域との交流の機会を増やしていく。
- ・保護者会や療育参観により多くの保護者が参加できるように、開催時期をずらして実施する。
- ・教室内が明るい居場所になるように蛍光灯や装飾等、環境整備の工夫を行っていく。
- ・各種マニュアルを整備はしていたが保護者からの認知度が低かったので周知の方法を変えていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・避難訓練の様子や緊急時に備えた各マニュアルについて教室内では整備できているが保護者への認知度に課題があるため、年度初めや長期休暇前にお便りを配り更に安全な事業省づくりを行う。
- ・療育参観と保護者会を定期的実施し多くの保護者が参加できるようにする。
- ・教室外との関わる機会を作る。

○1年間で取り組む具体策

- ・4月、9月、1月に安全管理のマニュアルを保護者に配布し内容の確認をしていただく。
- ・避難訓練では、実際に避難所まで移動する訓練を行い、子どもたちとルートを確認しておく。
また、その様子や経路を保護者様へも周知し、より実践的な訓練が行う。
- ・療育参観と保護者会を年に2回実施する。4月中に開催日を決めて、早めに周知していく。
- ・長期休暇に他教室との合同イベントを企画し、交流の場を設ける。1か月以上前から企画・利用者への周知を進めていく。